

(参考文献)

- 安里和晃 (2016) 「経済連携協定を通じた海外人材の受け入れの可能性」『日本政策金融公庫 論集 第30号』(2016年2月)
- 大竹文雄・大日康史 (1993) 「外国人労働者と日本人労働者との代替・補完関係」『日本労働研究雑誌』407号 pp2-9
- 岡村美保子 (2018) 「我が国の外国人労働者」(国立国会図書館調査及び立法考査局「レファレンス 804号 2018. 1」)
- 川口大司 (2011) 「ミンサー型賃金関数の日本の労働市場への適用」, RIETI Discussion Paper Series, 11-J-026
- 川口大司 (2017) 「労働経済学 理論と実証をつなぐ」有斐閣
- 神林龍・橋本由紀 (2017) 「移民・外国人労働者のインパクト 研究動向と日本におけるデータ」(『日本の労働市場－経済学者の視点』川口大司編) pp182-pp213
- 津崎克彦 (2018) 「現代日本における産業構造の変化と外国人労働」『産業構造の変化と外国人労働者』(駒井洋監修 津崎克彦編著) 第1章 pp17-46
- 金融庁 (2019) 「報告項目及び勘定科目の取扱いに関するガイドライン (CG・IFRS 対応版) (平成30年3月金融庁総務企画局企業開示課)
- ※CG: Corporate Governance、IFRS: International Financial Reporting Standards
- 厚生労働省 (2002) 「外国人雇用問題研究会報告書」(外国人雇用問題研究会座長: 岩村正彦 (東京大学法学部教授))
- 清水隆雄 (2008) 「外国人政策の変遷と各種提言」『人口減少社会の外国人問題: 総合調査報告書』国立国会図書館調査及び立法考査局, p31-41
- 出入国管理法令研究会 (2000) 「入国管理 Q&A 改訂2版」三協法規
- 新日本有限責任監査法人 (2015) 「平成26年度産業研究委託事業 外国人留学生の就職及び定着に関する調査」(平成26年度経済産業省委託調査)
- 総務省 (2013) 「外国人の受入れ対策に関する行政評価・監視－技能実習制度等を中心として－<結果に基づく勧告> (平成25年4月19日)
- 総務省 (2015) 「平成26年経済センサス－基礎調査(確報) 結果の概要」(平成27年11月30日)
- 中央教育審議会大学分科会 (2002) 留学生部会 (第1回平成14年12月25日) 資料4-1 (http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/007/gijiroku/030101/2-2.htm)
- 東京商工リサーチ (2018) 「外国人雇用に関するアンケート」調査、特別企画 (2018年12月25日)
- 統計委員会人口・社会統計部会 (2019) 「人口・社会統計部会の審議状況について (賃金構造基本統計調査(報告))」平成31年4月18日議事録

独立行政法人労働政策研究・研修機構(2018)「Databook of International Labor Statistics
2018 国際労働比較」

内閣官房(2009)「外国高度人材受入政策の本格的展開を(報告書)」高度人材受入推進会議
(平成21年5月29日)

内閣府(2007)「平成19年度 年次経済財政報告」

内閣府(2008)「経済財政改革の基本方針2008」(平成20年6月27日)

内閣府(2013)「経済財政運営と改革の基本方針について」(平成25年6月14日閣議決定)

内閣府(2014)「経済財政運営と改革の基本方針について」(平成26年6月24日閣議決定)

内閣府(2015)「経済財政運営と改革の基本方針について」(平成27年6月30日閣議決定)

内閣府(2016)「経済財政運営と改革の基本方針について」(平成28年6月2日閣議決定)

内閣府(2017)「経済財政運営と改革の基本方針について」(平成29年6月9日閣議決定)

内閣府(2018)「経済財政運営と改革の基本方針について」(平成30年6月15日閣議決定)

中村二郎・内藤久裕・神林龍・川口大司・町北朋洋(2009)「日本の外国人労働力 経済学から
の検証」(日本経済新聞出版社)

日本政策金融公庫総合研究所(2016)「中小企業における外国人労働者の役割～『外国人材の
活用に関するアンケート』から～」日本政策金融公庫総合研究所(平成28年12月14日)

日本政策金融公庫総合研究所(2016)「中小企業の成長を支える外国人労働者」(平成29年6
月30日)

法務省(2000)「出入国管理基本計画(第2次)」(平成12年3月24日 法務省告示第119号)

法務省、厚生労働省、経済産業省(2017)「高度人材の受入れ・就労状況」(平成29年12月
13日 未来投資会議構造改革徹底推進会合「企業関連制度・産業構造改革・イノベーション」
会合(雇用・人材)(第2回)配布資料)

法務省(2019)「特定技能制度施行に向けた準備状況について」(平成31年3月29日 第4
回外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議資料)

法務省出入国在留管理庁(2019)「在留資格『特定技能』について」都道府県別説明会におけ
る配布資料(平成31年4月版)

法務省入国管理局(2004～2018)「出入国管理(白書)」(法務省ホームページ
http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyukan_nyukan42.html)

法務省入国管理局及び厚生労働省職業能力開発局(2015)「技能実習制度の見直しについて
(外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律案について)」(平成
27年10月)

溝端幹雄・山口茜・渡邊吾有子(2019)「外国人労働者受け入れの賃金・生産性への影響 都
道府県パネルデータによる計量分析」大和総研レポート2019年2月25日

三谷直紀(1997)「外国人労働者と国内労働者の代替・補完関係」『企業内賃金構造と労働市
場』(勁草書房)

- 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング (2016) 「外国人労働者の受入れに関する実態調査」
(厚生労働省職業安定局委託事業)
- 文部科学省 (2018) 「企業関連制度・産業構造改革・イノベーション」会合 (雇用・人材) (第
4回 平成30年3月7日) 未来投資会議構造改革徹底推進会合資料
- リクルートワークス研究所 (2018) 「ワークス大卒求人倍率調査 (2019年卒)」
- 労働政策研究・研修機構 (2018) 「Databook of International Labor Statistics 2018
国際労働比較」 独立行政法人・労働政策研究・研修機構
- 渡邊博頭 (2004) 「間接雇用の増加と日系人労働者」 (『日本労働研究雑誌』2004年10月号
(No. 531))
- Angrist, J.D. and Kugler, A.D. (2003) “Protective or Counter-Protective? Labour Market
Institutions and the Effect of Immigration on EU Natives,” *Economic Journal*, 113
(488): F302-F331
- Borjas, George J. (2016) “We Wanted Workers: Unraveling the Immigration Narrative,”
W Norton & Co Inc. (和文「移民の政治経済学」(岩本正明訳)、白水社、2017年)
- Bussi, Margherita and Pareliussen, Jon (2017) “Back to Basics - Literacy Proficiency,
Immigration and Labour Market Outcomes in Sweden,” *Social Policy & Administration*,
Volume 51, Issue 4.
- Dustman, Christian, Uta Schönberg, and Jan Stuhler (2017) “Labor Supply Shocks,
Native Wages, and the Adjustment of Local Employment,” *The Quarterly Journal of
Economics*, Volume 132, Issue 1, 1 February 2017, Pages 435-483.
- OECD (2016) “The Economic Impact of Migration: Why the local level matters,”
International Migration Outlook 2016, Chapter 3, OECD Publishing, Paris.
- OECD (2019) “OECD Economic Surveys – Japan,” OECD, April 2019.
- IMF (2018) “2018 ARTICLE IV CONSULTATION – Press Release; Staff Report; And
Statement by the Executive Director for Japan,” International Monetary Fund,
November 21, 2018.
- Leeson, Peter T. and Zachary Gochenour (2015) “The Economic Effects of International
Labor Mobility,” in Powell ed. (2015) “The Economics of Immigration: Market-Based
Approaches, Social Science, and Public Policy,” Oxford University Press (和文「移民の
経済学」(藪下史郎監訳、佐藤綾野・鈴木久美・中田勇人訳)、東洋経済新報社、2016年、
pp13-45.)
- Manacorda, M., Manning, A. and Wadsworth, J. (2011) “The Impact of Immigration on
the Structure of Wages: Theory and Evidence from Britain,” *Journal of the European
Economic Association*, Volume 10, Issue 1.

- Mincer, J. (1974), “Schooling Experience, and Earnings,” *New York National Bureau of Economic Research*, Columbia University Press.
- OECD (2019) “2019 Economic Review – JAPAN,” Economics Department, Economic and Development Review Committee, 15 April 2019.
- Powell, Benjamin (2015) in “Conclusion: Alternative Policy Perspectives” in Powell ed. (2015) “The Economics of Immigration: Market-Based Approaches, Social Science, and Public Policy,” *Oxford University Press* 2015 (和文「移民の経済学」東洋経済新報社、2016年, pp279-310)
- Steinhardt, Max Friedrich (2009) “The wage impact of immigration in Germany – new evidence for skill groups and occupations,” Hamburg Institute of International Economics (HWWI) Research Paper, *HWWI Research Programme Economic Trends*, April 2009